

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉原論A（Principles of Social Welfare A）		
ナンバリングコード	E20903	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E022401	クラス名	-
担当教員名	岡江 晃児、河村 裕次		
履修上の注意、 履修条件	・本講義は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目となっています。 ・講義では、 見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。 ・授業時の座席指定：なし ・毎講義開始時に授業プリントを配布します。講義を欠席した場合等は、研究室に取りに来てください。また、配布したプリントは、各自で保管をしてください。		
教科書	指定なし		
参考文献及び指定図書	新・社会福祉士養成講座4『現代社会と福祉』中央法規 精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー『社会福祉原論』へるす出版 岩田正美ほか『社会福祉の原理と思想』有斐閣		
関連科目	高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論，公的扶助論		

○基本情報		
授業の目的	福祉政策の理念・原理・歴史について理解を深め、福祉ニーズと資源の関係を考察し、現代社会にはどのような社会問題が福祉と関係してくるのかを考えます。 本授業を通して、現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解（知識・理解）、各国およびわが国における社会福祉の発展過程について説明することができる（技能・表現・コミュニケーション）、今日の福祉の原理をめぐる理論と哲学について考察することができる（思考・判断・創造）ようになることを目指します。 また、こども・福祉マネジメントコースが養成する人材像のうち、「地域共生のために必要な知識」について、社会福祉に関する基礎的知識の修得を目指します。	
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に伴って、従来の「社会福祉原論」に代わって、新たに「現代社会と福祉」という科目が設けられました。科目名こそ従来のままだとはいえ、本科目は「現代社会と福祉」のシラバスにしたがって行われます。「現代社会と福祉」は社会政策、とりわけ福祉政策の原理的問題に重きが置かれています。従来よりも理論的色彩の濃いものとなっています。また貧困、社会的孤立、自殺、虐待などといった社会問題と福祉政策がどのようにかわるのかについて、深い理解が求められています。日頃から社会問題について強い関心を懐くことが必要です。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	現代社会で起きている福祉的問題・課題について関心を示すことができる。		20点	
【知識・理解】	現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解している。	40点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	各国およびわが国における社会福祉の発展過程について説明することができる。		15点	
【思考・判断・創造】	今日の福祉の原理をめぐる理論と哲学について考察することができる。		15点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
定期試験及び毎講義のリアクションペーパー等をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 ※リアクションペーパーの記述内容及び記載された質問等については、次の講義時などに可能な限りコメントをします。	

○その他	
・進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合があります。 ・講義内容についての質問・要望等は、講義終了後または研究室(メールも可)に来てください。 ・社会福祉士受験資格取得には、本科目及び「社会福祉原論B」(後期開講科目)の単位修得が必要となります。	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	社会福祉原論A (Principles of Social Welfare A) 岡江 晃児、河村 裕次	授業コード	E022401
学修内容				
1. オリエンテーション・社会福祉とは？ 本講義の目的および到達目標等について説明します。 ”福祉”や”福祉活動”とは何かについて概説します。				
予習	「福祉とは何か」について、自分なりの意見をまとめる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
2. 福祉制度の概念と理念 社会福祉の目的概念、実体概念について説明します。また、福祉制度の根底となる社会福祉法と諸分野の法制度との関係やその内容について概説します。				
予習	社会福祉法について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
3. 福祉政策の概念と理念 政策について、その定義、種類(社会政策、福祉政策、社会福祉政策)について説明します。また福祉政策の歴史的変遷について概説します。				
予習	政策の概念と理念について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
4. 福祉制度と福祉政策, 福祉政策の主体と対象 これまでの福祉制度や福祉政策の概念と理念をもとに、福祉制度と福祉政策の関係について考えていきます。また、福祉政策の主体と対象について説明します。				
予習	これまでの福祉制度や福祉政策の関係について調べておく。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
5. 福祉の原理をめぐる理論 福祉の原理(基本原則, 根本原則)のうち、「選別主義と普遍主義」, 「ナショナルミニマムと社会保障」について説明し、今日の社会に求められる福祉のあり方について考えていきます。				
予習	ナショナルミニマムについて調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
6. 福祉の原理をめぐる哲学と倫理 福祉の原理をめぐる哲学と倫理として、「糸賀一雄の活動」と「朝日訴訟と生存権保障」を取り上げ、福祉に求められる哲学について説明します。また、なぜ福祉実践者にどのような倫理が求められるのかについて考えていきます。				
予習	朝日訴訟について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
7. 各国の社会福祉の発展過程① 本講義では各国の社会福祉の発展過程のうち、イギリスの福祉制度の発展を取り上げます。本時では、①中世封建社会、②産業革命時を中心にエリザベス救貧法から新救貧法に至る経緯、慈善組織協会による活動、セツルメント運動について説明します。				
予習	エリザベス救貧法について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
8. 各国の社会福祉の発展過程② 本時では、第2次世界大戦前までのイギリスの救済制度について取り上げます。ブース・ラウントリーが行った貧困調査の概要とその結果が与えた影響とベヴァリッジ報告を中心に説明します。				
予習	ベヴァリッジ報告について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	社会福祉原論A (Principles of Social Welfare A) 岡江 晃児、河村 裕次	授業コード	E022401
学修内容				
9. 各国の社会福祉の発展過程③ 本時では、戦後のイギリスの福祉制度について取り上げます。イギリスにおいてソーシャルワークの専門性が高められた活動や貧困の捉え方の議論やコミュニティワークの発展を中心に説明します。				
予習	相対的貧困について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
10. わが国における社会福祉の発展過程① 本時では、わが国に社会福祉の発展過程のうち、前近代社会と近代社会における福祉制度の変遷を取り上げます。恤救規則から救護法制定へ至る背景やその概要について説明します。				
予習	日本の福祉制度について調べておく。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
11. わが国の社会福祉の発展過程② 本時では、戦後の福祉制度の変遷のうち、福祉3法体制の確立と戦後処理(1947～1960年代前半)について説明します。				
予習	戦後の福祉制度について調べておく。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
12. わが国の社会福祉の発展過程③ 本時では、戦後の福祉制度の変遷のうち、オイルショックや高度経済成長の終焉による社会福祉の抑制とそれに伴う社会福祉・福祉制度の見直し期(1970～1980年)について説明します。				
予習	当時の社会情勢について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
13. わが国の社会福祉の発展過程④ 本時では、戦後の福祉制度の変遷のうち、諸計画に基づく福祉の展開がすすめられた背景とその概要(1990年代前半)について説明します。				
予習	当時の社会情勢について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
14. わが国の社会福祉の発展過程⑤ 本時では、戦後の福祉制度の変遷のうち、在宅福祉を中心とした福祉の展開が図られた背景とその概要(1990年代後半)について説明します。				
予習	当時の社会情勢について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
15. わが国の社会福祉の発展過程⑥ 2000年以降の福祉制度の発展過程について取り上げるとともに、今日のわが国の福祉制度が直面している現状と課題について考えていきます。				
予習	当時の社会情勢について調べる。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
16. 期末試験 期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。				
予習				約2時間
復習				約2時間